



本村幼稚園 5月の園だより

令和5年4月28日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

やる気を育てる

園長 山崎 高志



風薫る5月となりました。鯉のぼりが毎日子どもたちを迎えてくれています。

入園、進級して約3週間が経ちました。入園した頃は、登園して保育室に行く時に家族と別れがたく、なかなか手を離さずに泣いていたりす組の子どもたちも、日を追うごとに自分からすぐに保育室へ向かうようになりました。今では園での生活をすっかり楽しんでます。

さて、今年度は、保護者会でお話ししたように、「体験と交流」をメインに教育活動を進めていきます。幼児期にいろいろなものを体験させることから、子供たちは好きなものを発見していくことができ、交流から「生きることのうれしさ」「関わりのうれしさ」を育みます。4月の「体験」では、ネイティブティーチャーに英語でのジャンケンや手遊び歌を教わりました。また、小学校の体育館でボール遊びを行いました。さすが、はと組のお兄さんとお姉さんは先生の指示通りにボールを上手に扱うことができました。りす組の子供たちも笑顔でボールけりを楽しみました。交流では、休み時間に6年生のお兄さんが大きな砂山作りを手伝ってくれました。お兄さんたちが手伝ってくれることで遊びがダイナミックになります。そして何よりこれらの体験と交流を子供たちは面白がっています。

子どもは面白いと「やる気」を出します。実は「やる気」を「育てる」ことこそ、教育の基本です。「好きなこと」なら「やる気」になると思いがちですが、「すぐに、いやになる」ことも多いのです。では、どうすれば子どもがやる気を起こすのか。その場面は8つあります。

- ① 面白いとやる気になる
- ② 見通しをもてるとやる気になる
- ③ やり方が分かるとやる気になる
- ④ 問題が選択できるとやる気になる
- ⑤ 評定されるとやる気になる
- ⑥ 挑戦するときやる気になる
- ⑦ みんなとやるとやる気になる
- ⑧ ほめられるとやる気になる

この8つを意識して、今後も体験と交流活動を進めていきます。

そして、5月はその中でも最大の行事に当たる「合同運動会」を行います。運動会の練習に「やる気」をもって取り組み、合同運動会で成長した子供たちの姿をお見せできるよう今月も教職員一同教育活動を進めてまいります。

